



熊本市 感染症発生動向調査 速報



手足口病が少し増えています。手洗いなど、感染防止に努めましょう。

●手足口病

コクサッキーウイルスをはじめとする、エンテロウイルスの感染によって、口の中や、手足などに小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。発生の9割が、5歳以下の乳幼児です。

◆どんな病気？

- ・**症状**……口の中、手のひら、指、足の裏などに2～3mmほどの水疱性発疹が出ます。この水疱は、かゆみがなく、痂皮(かさぶた)を作らずに治るのが特徴です。発熱を伴うこともあります。38℃以下の場合がほとんどです。
- ・**潜伏期間**…3～5日程度
- ・**感染経路**…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2～4週間は便の中にウイルスが排泄されます。
- ・**流行期**……夏(7月下旬ごろ)にピークを迎えますが、秋から冬にかけても少し発生がみられます。



◆かかったらどうすればいいの？

- ・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上発熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
- ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は？

- ・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染している子どものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。

期 間		2019年 10週		2019年 11週	
		3/4～3/10		3/11～3/17 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		48	1.92	44	1.76
RSウイルス感染症		10	0.63	16	1.00
咽頭結膜熱(プール熱)		6	0.38	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		56	3.50	40	2.50
感染性胃腸炎		87	5.44	67	4.19
水痘(みずぼうそう)		6	0.38	11	0.69
手足口病		18	1.13	24	1.50
伝染性紅斑(りんご病)		3	0.19	1	0.06
突発性発しん		12	0.75	11	0.69
ヘルパンギーナ		0	0.00	5	0.31
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		17	3.40	14	2.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		4	0.80	7	1.40